

セカンドレベル研修修了者からのメッセージ

～認定看護管理者教育課程セカンドレベルを目指す皆さんへ～

急性期病院 副師長

私は上司からの勧めをきっかけに、セカンドレベル研修を受講しました。初めは、セカンドレベルといえば師長以上の職位の方が受講する研修というイメージがあり、副師長という自分の立場での受講に戸惑いや不安を感じていました。しかし、実際を受講者の中には自分と同じ職位の方が複数おり、また、講義では講師の先生方が受講者それぞれの立場を考慮して話をしてくださるので、安心して研修に臨むことができました。

研修での学びにより、管理についての知識を深め、自身の「管理観」を再構築することができました。また、研修を通して様々な立場の方々とディスカッションや意見交換、また時にはたわいない会話の中で、立場は違っても現場で同じ困難を感じていることや、同じ問題でも管理者個々で捉え方や改善に対する考え方が異なること等を知りました。このように、多くの看護管理者の方々の「管理観」に触れたことは、講義での学びと相まって、自分自身の管理観を深め、醸成するのに非常に有用な機会となりました。

そして何より、同じ研修にともに臨んだ受講生の方々と共に困難を乗り越えていく中で「同士」としての絆が生まれ、多くの施設の方々とネットワークが築けたことは自分にとって貴重な財産となりました。

受講後は自分自身の「管理」における視点の変化、視野の広がりを鮮明に感じており、この研修での学び、経験は今後自分が看護管理を継続していく上での自信であり強みとなることを確信し、「本当にこの研修を受講してよかった」と心から思っています。

しかし、同時に「もっと早く受講しておけばよかった」という後悔があります。私はファーストレベル修了後、実際に管理職に就いてから5年が経過したタイミングでこのセカンドレベル研修に臨みました。研修で学びを深めていく中で、「管理」についての自身の知識の乏しさ、「管理観」の未熟さを痛感し、そのような状況でこれまで管理に携わってきたことを悔やみました。これは私だけではなく、受講生の多くが口にしていた思いです。

セカンドレベルは、「看護管理」の実践レベルの向上だけではなく、もっと基本的な「看護管理」の根幹にある重要な要素を学ぶ機会であり、この学びと経験は「看護管理」の実践において絶対に欠かすことのできないものだと研修を修了した今、強く感じています。

既に看護管理に携わっている方はもちろん、ファーストレベル受講後のステップアップとして、早い段階での受講をお勧めします。色々な施設、立場の方がいますので、ご自分の背景を気にする必要は一切ありません。

皆さん、セカンドレベル研修にチャレンジしてみませんか。

